



くわのみ

桑野地域公民館設立50周年によせて



50周年記念式典 参加者による万歳三唱の様子

元職員 村上 藤子さん
公民館設立50周年おめでとう
ございます。

平成25年から7年間職員として、地区の皆様にお世話になりました、そしてご無沙汰しております。

7年間夢中でした。初めて「高齢者学級」を担当した館外学習の会津路、ガチガチの私に学級生の方々から優しい言葉をかけていただき、11月下旬の雪景色が暖かい記憶として残っています。



また、桑野小卒業生の父兄の方から、この春高校生になった娘さんが公民館事業に参加して楽しかったと聞き、あの当時の子どもさんの顔を思いだしておりました。

文化祭・体育祭での一人一人のパワーは地区反映の現れだと感じました。町内会を中心とした一致団結力は、桑野の地域力に繋がり、公民館も皆さんで作りに上げているのだと在職中から感じておりました。

これからも、ますます桑野地域公民館が皆様に愛され発展される事を祈っております。

桑野公民館 50歳おめでとう



桑野小6年 中島 大貴

僕は1年生のころから桑野公民館のイベントにたくさん参加してきました。オセロ大会、バスで行く遠足、けん玉教室、そば打ち、長期休暇の宿題の講座など色々なことを体験しました。



一番楽しかったのは、遠足で行ったニジマスのつかみ取りです。これは3回くらい参加しました。ニジマスを手で壁のほうに追い込んだら捕まえました。ニジマス取りが楽しくなり、まだ捕まえない人の分も取ってあげました。その後昼食の時に食べたニジマスの塩焼きはおいしかったです。

最近はおセロ大会がありました。1年生の時に初めて参加したときは、全勝したのに他にも全勝した人がいてじゃんけんになり、2位になってしまいました。5年生のときは1回だけ負けて、全勝の人が2人いて、3位となりました。悔しかったので勝つためにお父さんとたくさん対戦して練習しました。そして今年の小学生最後のオセロ大会では全勝して遂に念願の優勝を果たしました。

これからも桑野公民館のイベントに参加しようと思っています。小学生としては残り短い間になりましたがこれからもよろしく願いいたします。

みつけたらよんでみよう **おすすめの絵本** 筆：たかみや みちこ



パパ、お月さま とって! さく：エリック=カール やく：もり ひさし



ふと、夜空をみたとき、とても月が大きく近くに見えることってありませんか？

この絵本は、そんな気持ちになった子どもがパパに「パパ、お月さま とって!」と、おねがいすることからはじまります。

さて、パパはどうやってお月さまをとってくるのでしょうか??

画面が上下左右と広がるような大きな仕掛けもあり、絵本の世界から空の世界へと広がり、とてもわくわくする気持ちにさせてくれます。パパの優しい思いが溢れたとても素敵な絵本です。

ぜひ、みつけたらよんでみてください。

そして、パパの読み聞かせにも、ぜひ、おすすめいたします。

『男のわいわい塾・皮工芸』 講師：齋藤 美保子 さん



猛暑続きの厳しい夏も過ぎ、さわやかな秋晴れの 10 月、桑野地域公民館主催事業 男のわいわい塾『皮工芸』講座で、オリジナル皮のキーホルダーを作っていただきました。イニシャルや動物、花、葉など、思い思いの刻印で模様をつけた後、好みのカラーで染色しました。レザークラフトは初めての方ばかりで説明の際には多くの質問がありました。不安を感じていた方もいらっしゃいましたが、各テーブルでは、和気あいあいとした雰囲気の中で、意欲的に作業され、男性はさすがに力があり、刻印もきれいに打たれていて模様が鮮明に仕上がりました。組み立ても力強くカシメを上手に打たれ、素敵なキーホルダーが完成しました。皆さん、納得いく作品の出来栄えに満足され、皮工芸の楽しさをわかっていただいたようでした。また、別な作品に挑戦していただく機会があると良いですね。

私の所属しています日本レザークラフト協会は、今年創立 50 周年を迎え、5 月にビッグアイで皮工芸展を開催いたしました。会員は、年 1 回皮工芸展(全国展)で作品を発表し、開催地での研修旅行では作品づくりに役立つ体験や観光を楽しみながら会員間の交流を深めています。来年は京都文化博物館において、5 月に第 44 回皮工芸品展を開催いたします。レザークラフトは、いろいろな手法や技法があり、老若男女を問わず楽しむことができます。ご自分の好みの色やデザインで皮の小物を制作してみませんか。革製品は使い込むほどに味が出て愛着がわき、次の制作への励みになります。もっと皮の作品を作りたいと思う方の入会を歓迎しております。

